

全苗連だより

Vol. 120 (12月増刊号)

令和5年12月25日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

令和6年度林野庁予算の概算決定の概要

森林整備事業(林野公共予算)は、1,254億円(経常分)(対前年度比100.1%) + 5年度補正追加額477億円で1,731億円で決定

非公共事業は1,021億円(94.8%) + 5年度補正追加額323億円で決定となり、経常分の予算規模は縮小するが、補正予算で確保した「花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策」(60億円)などを組み合わせて、必要な施策や事業を効率的に実施していく方針

政府は12月22日の閣議で、令和6年度予算について概算決定しました。

今年、11月29日に令和5年度補正予算が成立しており、令和6年度当初予算に合わせて、森林整備政策を強力に推進することとなります。それでは令和6年度林野庁予算概算決定の概要をお知らせします。

種苗関連予算については、公共事業、非公共事業とも「花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策」を基軸に必要な施策や事業を効率的に実施していくことになっていますが、具体的には令和5年度予算内容を基本的に踏襲したものとなっています。なお、採種園・採穂園の整備等については、先の補正予算で支援することとなっています。

まず、森林整備事業予算(公共事業)については、6年度当初予算が一般会計で1,254億円(対前年度比100.1%)となっています。5年度補正追加額の477億円を合すると1,731億円となっています。森林整備事業は花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え等を推進するとともに、森林吸収源の機能強化・国土強靱化に向けて、間伐、主伐後の再生林等を着実に推進することになります。

予算の重点事項のテーマの1つに『森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策』【参考資料1】があり、主要な種苗生産に係る支援措置は以下のとおりです。

◎「森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策」【参考資料1】の中の「林業・木材産業循環成長対策(拡充)」【参考資料2】では、

○コンテナ苗生産基盤施設等の整備【参考資料3】

- ・小規模生産者への支援(生産目標要件、年間1万本)
- ・普通苗の干害に備えかん水施設の整備支援
- ・施設整備等と併せて実践的知識の習得やOJT研修を行う際の経費を附帯事業費により支援

以上は、令和5年度の事業内容に同じ、補助率1/2)

- ・(なお、花粉の少ない苗木の増産施設の整備を補正予算で措置、補助率4/10、1/2、6/10)

○優良種苗生産推進対策【参考資料4】

- ・採種園・採穂園の整備が補正予算へ(令和5年度終了)
 - ・少花粉ヒノキミニチュア採種園の管理技術の指導を追加
- 以上が措置されました。

【参考資料1】

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策

【令和6年度予算概算決定額 14,398(16,143)百万円】

(令和5年度補正予算額(林業・木材産業国際競争力強化総合対策) 45,811百万円)
(令和5年度補正予算額(花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策) 6,000百万円)

<対策のポイント>

カーボンニュートラル等を実現し、花粉発生量の削減にも資するよう、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進します。

<政策目標>

国産材の供給・利用量の増加(35百万m³[令和4年]→42百万m³[令和12年まで])

<事業の全体像>

1. 林業・木材産業循環成長対策

- ・路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐を支援
- ・木材加工流通施設、木造公共建築物の整備を支援
- ・木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設の整備を支援

5. 森林・林業担い手育成総合対策

- ・新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、林業経営体の労働安全対策を支援

2. 林業デジタル・イノベーション総合対策

- ・林業機械の自動化・遠隔操作化や木質系新素材の開発・実証、森林資源情報のデジタル化、新技術を活用する高度技術者の育成、デジタル林業戦略拠点の構築を支援

6. 「新しい林業」に向けた林業経営育成対策

- ・伐採から再造林・保育に至る収支がプラスとなる経営モデルの構築を支援

3. 建築用木材供給・利用強化対策

- ・都市部における建築用木材の利用実証・普及、JAS製材のサプライチェーン構築、製材やCLTを用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発や設計・建築実証を支援

7. 林業・木材産業金融対策

- ・意欲と能力のある林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の円滑化を支援

4. 木材需要の創出・輸出力強化対策

- ・木の効果の見える化や木材製品の輸出促進を支援
- ・「地域内エコシステム」の展開、特用林産物の需要拡大を支援

8. 森林・山村地域振興対策

- ・地域住民や地域外関係者による森林の保全管理等を支援

【参考資料2】

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち

【令和6年度予算概算決定額 6,410,123 (7,132,339) 千円】

林業・木材産業循環成長対策（拡充）

（令和5年度補正予算額（林業・木材産業国際競争力強化総合対策の一部） 12,585,500千円）
（令和5年度補正予算額（花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策） 6,000,110千円の内数）

＜対策のポイント＞

路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化、エリートツリー等の苗木の安定供給とともに、木材加工流通施設、特用林産振興施設の整備等の川上から川下までの取組を総合的に支援します。

＜事業目標＞

国産材の供給・利用量の増加（35百万m³ [令和4年] →42百万m³ [令和12年まで]）

＜事業の内容＞

1. 林業・木材産業生産基盤強化対策
路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐のほか、木材加工流通施設、特用林産振興施設、木質バイオマス利用促進施設、木造公共建築物の整備や、森林境界の明確化等を支援します。

2. 再造林低コスト化促進対策

再造林に係る低コスト化を進めるため、低密度植栽等の低コスト造林、エリートツリー等の原種増産技術の開発やコンテナ苗の増産に向けた施設整備等を支援します。さらに、再造林に向けた川上から川下まで一体となった取組を支援します。

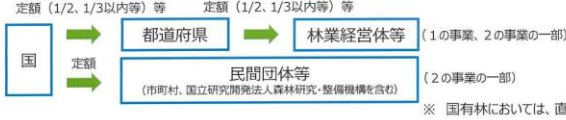
（関連事業）

（R5年度補正予算） 燃油・資材の森林由来資源への転換等対策

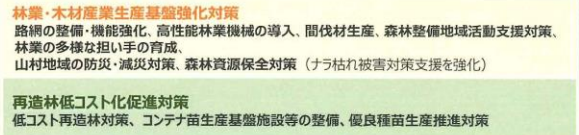
2,000,048千円

燃油・資材の価格高騰に対応するため、きのこの生産施設の省エネ化や生産資材導入を支援するとともに、木質バイオマスの収集・運搬、木質燃料の製造・熱利用に向けた取組等を支援します。

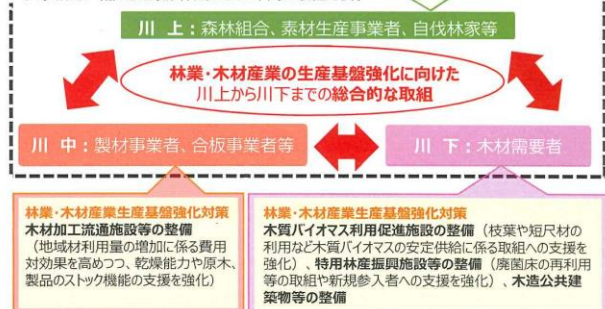
＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞



事業構想（都道府県が作成する5年間の取組方針）



【お問い合わせ先】 林野庁計画課（03-6744-2082）

【参考資料3】

林業・木材産業循環成長対策のうち

コンテナ苗生産基盤施設等の整備

【令和6年度予算概算決定額 6,410,123 (7,132,339) 千円の内数】

再造林の確実な実施が重要であり、そのため、再造林の省力・低コスト化に必要なコンテナ苗の生産基盤の強化とともに、増加する造林面積に確実に対応すべく普通苗の安定生産に向けた対策を支援します。

【コンテナ苗の特徴】

・植栽時期が広いことから、伐採と造林の一貫作業に用いやすく、造林コストの低減が期待。



【林業種苗の現状】



○ 全国の苗木生産事業者数の推移（単位：者）

| 年度 | H10 | H15 | H20 | H25 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 生産者数 | 3,037 | 2,191 | 1,256 | 904 | 882 | 854 | 817 | 811 | 811 | 804 | 844 |

- 近年の造林面積の増加を受け、増加傾向に転じ、令和3年度は約6,500万本
- 苗木生産事業者は844者と微増に転じたが、供給体制は脆弱
- コンテナ苗は平成21年度から徐々に増加し、令和3年度のシェアは4割程度
- 全国森林計画では約7万ha/年の再造林の見込み。約1億本/年の苗木が必要

＜事業の内容＞

- コンテナ苗を生産する事業者を対象に、ハウス等のコンテナ苗生産施設の整備、生産資材の調達等を支援
- コンテナ苗用に種子配布又は幼苗生産を行う事業者を対象に、種子選別機等の幼苗生産の高度化施設装置の整備、生産資材の調達等を支援
- 造林面積が増加や、苗木生産者数が減少傾向にあることを踏まえ、安定的な生産体制を確保するため、加えて近年の気候不順や干害対策として、普通苗灌水施設を支援

＜事業主体＞

林業種苗生産事業者等 定額（1/2以内）

＜交付率＞

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

コンテナ苗生産基盤の強化

- コンテナ苗生産基盤の裾野を拡大
 - コンテナ苗を生産する苗木生産事業者等に対し、生産施設の整備、生産資材の調達等を支援
 - 種子配布、幼苗生産を行う者に対し、種子選別機等の幼苗生産の高度化施設の整備等を支援



普通苗の干害対策

- 普通苗の安定的な生産・供給を確保
 - 増加する造林面積に対応するため、普通苗の生産量維持・増産も重要。
 - 近年の気候不順の多発化や、大規模な干害に備え灌水施設等の整備を支援



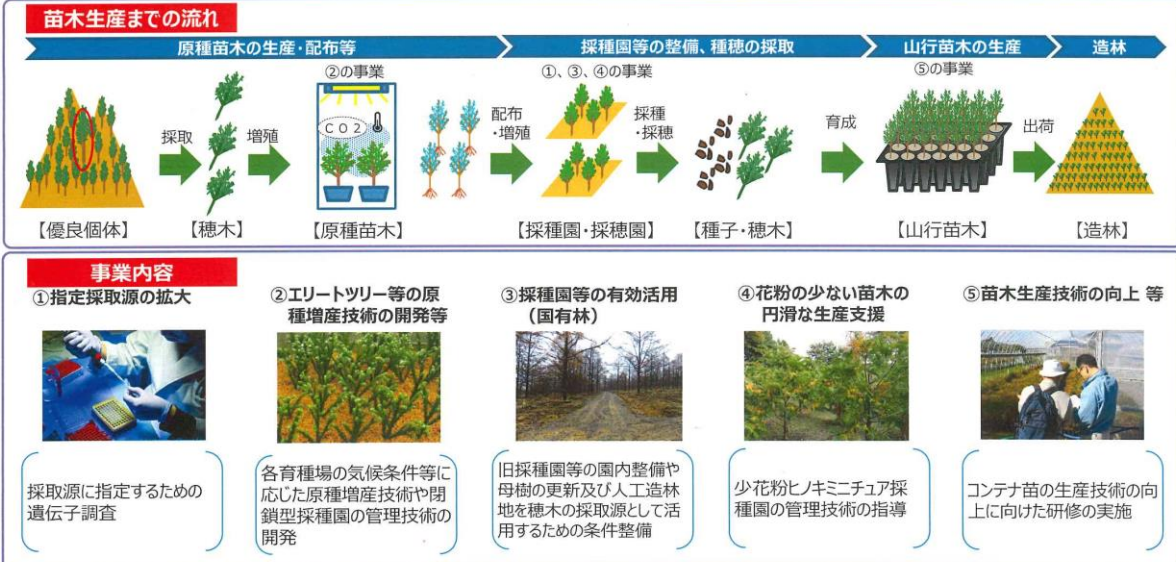
【お問い合わせ先】 林野庁整備課（03-3502-8065）

【参考資料 4】

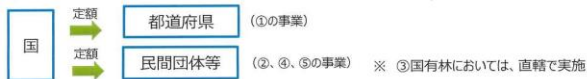
林業・木材産業循環成長対策のうち
優良種苗生産推進対策

【令和6年度予算概算決定額 6,410,123 (7,132,339) 千円の内数】

再造林の低コスト化に資するエリートツリー等の優良種苗の普及を加速するため、種穂の採取源の充実を図るとともに苗木の生産技術の向上を図ることで、優良苗木の供給拡大を進める。



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

(④の事業)
(①、⑤の事業)
(②の事業)
(③の事業)

林野庁森林利用課 (03-3501-3845)
整備課 (03-3502-8065)
研究指導課 (03-6744-2312)
業務課 (03-6744-2325)

全苗連・苗組の行事予定

- 12月7日 令和5年度第4回全苗連正副会長会議(全苗連事務室)
- 12月11日 林業種苗生産者講習会テキストの更新委託事業第2回検討委員会(日林協会館)
- 令和6年
- 1月4日 令和6年林業関係団体賀詞交換会(航空会館)(日本林業協会)
- 1月18～19日 北海道・東北地区林業用種苗需給連絡協議会(宮城県)
- 1月19日 令和6年度第1回林業団体懇談会(日本林業協会)(航空会館)
- 2月2日 関東地区林業用種苗需給連絡協議会(千葉県)
- 2月6日 林業種苗生産者講習会テキストの更新委託事業第3回検討委員会(日林協会館)
- 2月7日 第2回中央情報連絡協議会(web)(日本木材総合情報センター)
- 2月8日 令和5年度新たなコンテナ苗生産技術等調査委託事業第2回検討委員会(日林協会館)